

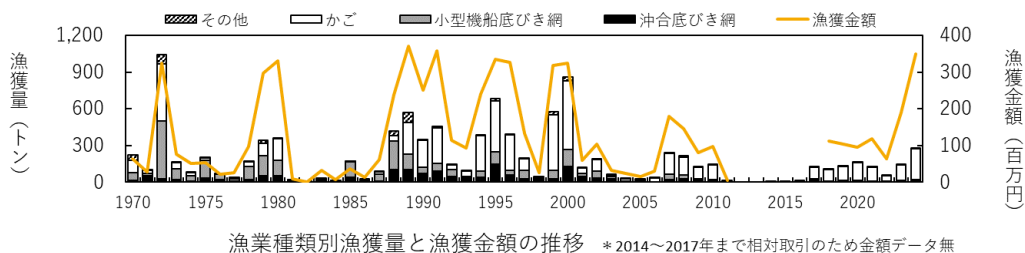
1 生態

- ・青森県以南の沿岸に広く分布します。本県沿岸では、茨城県沿岸で発生した個体が北上流で輸送されて6～8月に出現します。また、仙台湾周辺で生育した個体が、10～1月頃に南下して来遊します。
- ・寿命は1～2年、メスの産卵は一生に1回で、卵がふ化した後に死亡します。
- ・肉食性で、浮遊期の稚仔はアミ類などの浮遊性甲殻類を食べますが、底生生活移行後はエビ、カニなどの甲殻類や貝類を好む他、魚類も食べます。



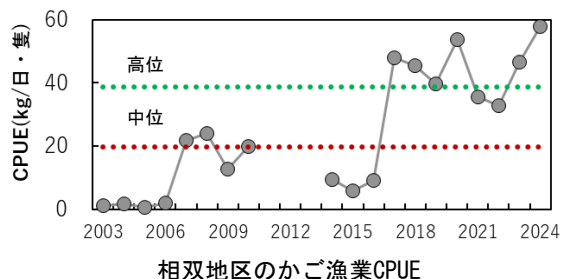
2 漁業に関する情報

- ・主にかごで秋～冬期に漁獲されています。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2014年（平成26年）10月から再開されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は282トン、金額は349百万円でした。



3 資源の状態

- ・相双地区のかご漁業CPUEを指標値として判断すると、2024年は57.8kg/隻・日で資源水準の高中位境界(38.8kg/隻・日)を上回り、資源水準は高位、2020-2024年における資源動向は増加と評価しました。
- ・指標値について震災後は漁具数制限など操業の変化に留意が必要ですが、近年は夏頃まで好漁が続くなど、本県漁場への加入が良好であると考えられます。



4 資源管理の取組み

- ・自主規制として小型個体の再放流や漁具数制限（かご漁業）が地区単位で行われています。